

令和7年12月1日 令和7年第1回臨時会  
副議長選挙に係る所信表明

横内 博之 議員

皆さん、おはようございます。

議席番号8番、一新会の横内博之です。副議長選挙の所信表明をさせていただきます。

私が副議長に選出された暁には、3つのことに尽力していきます。

1つ目は当たり前のことではありますが、副議長として議長を補佐する役割をしっかりと担います。

2つ目は、市民の皆さんにとって議会をもっと身近な存在にしていきます。そのために必要なのは「広報」と「広聴」だと捉えています。

「広報」の観点としては、議会だより、ケーブルテレビ、インターネット、YouTubeなどで発信を行っていますが、周辺自治体や先進自治体の取組を見ると、YouTubeのライブ配信や議会だよりの改革など、まだまだできることはたくさんあります。そして、「広報」だけでなく「広聴」。つまり、市民の皆さんから行政に対する意見・要望などを広く聞き取る活動についても力を入れたいと考えています。「広報」と「広聴」の両面に力を入れ、これまで以上に市民に開かれた議会にしていきます。

そして3つ目は、議会と執行部との信頼関係を築き、連携を円滑にしていくことに尽力します。

議会は新体制になり、1年が経ちました。また、執行部も大西市政になり早7ヶ月が経ちました。喫緊の課題については目線が合ってきていると思いますが、ビジョンや戦略の目線合わせができておらず、コミュニケーション不足が生じている今の状況では「市政善進」の推進力が弱いと感じています。

議会と市長の関係は、よく「車の両輪」に例えられます。それぞれが市民の代表者としての信任に基づいて、市政を担っています。緊張感のある関係である必要があります。

ますが、一方でお互いの信頼関係や連携が必要になる場面も大いにあります。

市民にとってよりよい四国中央市にしていけるよう、議会と執行部が信頼関係を築き、連携を円滑にしていけるように尽力していきます。

以上、副議長選挙の所信表明を終わります。まだまだ若輩者ではありますが、精いっぱい努めていきますので、宜しくお願いいたします。